

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第19週の発生動向

トピックス

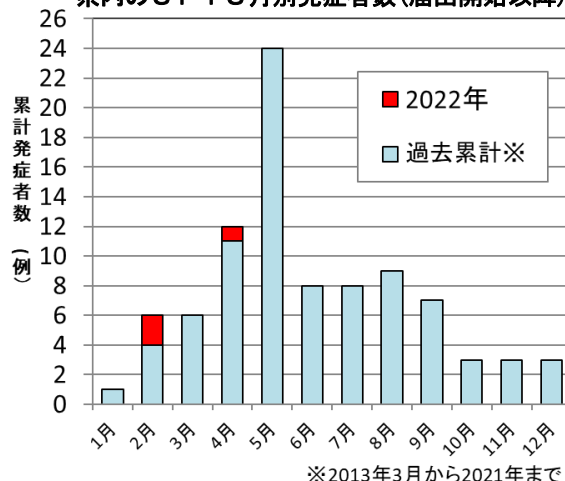
・重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)
 (全数報告の感染症) の報告が日南保健所管内からあった。患者は70歳代の女性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は、累計90例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	20	37	21	5

・新型コロナウイルス感染症(新型インフルエンザ等感染症)の報告が3,547例あり、2022年の累積報告数は40,701例となった。

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



全数報告の感染症 (19週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。
 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。5類感染症：梅毒1例。

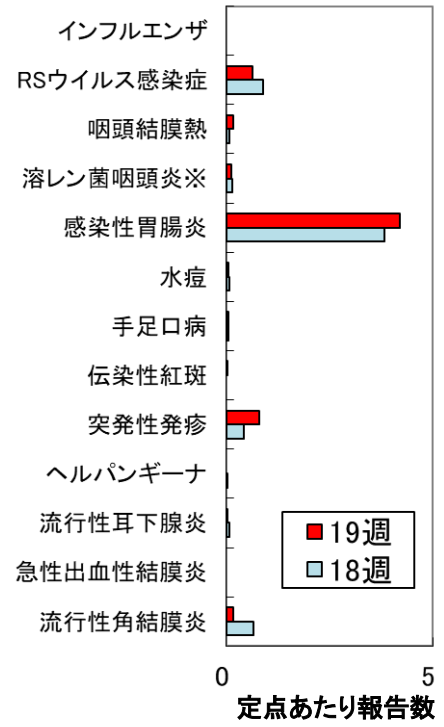
	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	肺結核	咳、痰
			70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
4類	重症熱性血小板減少症候群	日南	70歳代	女	—	発熱、頭痛、腹痛、食欲不振、血小板減少、白血球減少
5類	梅毒	都城	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹

新型インフルエンザ等感染症 (19週に新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症3,547例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地保健所	報告数	年齢群											症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	
宮崎市	1,669例	286	318	306	242	246	117	86	48	14	6	—	発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
都城	613例	116	133	97	88	73	43	25	21	11	5	1	
延岡	260例	28	89	36	36	31	18	12	7	3	—	—	
日南	146例	13	32	12	24	26	13	17	6	3	—	—	
小林	153例	15	22	28	22	14	14	12	7	11	6	2	
高鍋	278例	48	51	46	40	44	24	11	10	3	1	—	
高千穂	6例	1	3	1	—	—	—	1	—	—	—	—	
日向	264例	53	68	29	41	32	13	12	9	6	1	—	
中央	129例	13	28	11	21	20	18	6	9	2	1	—	
県外	29例	5	3	9	4	3	4	1	—	—	—	—	

《前週との比較》



□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は220人(定点当たり6.3)で、前週(祝祭日の休診含む)比100%と横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

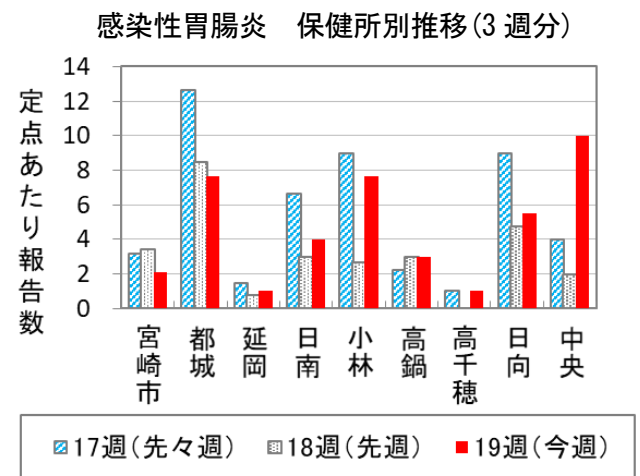
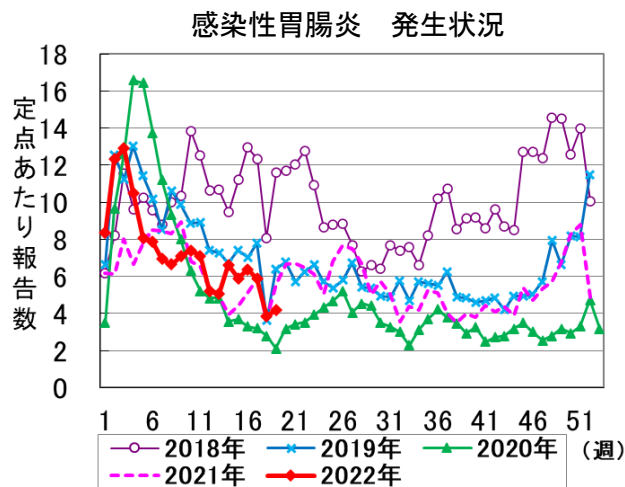
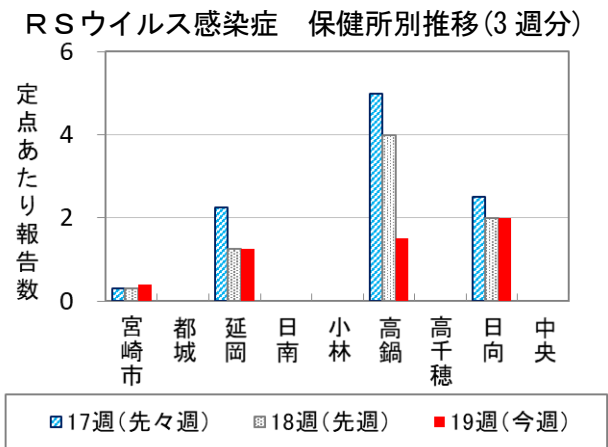
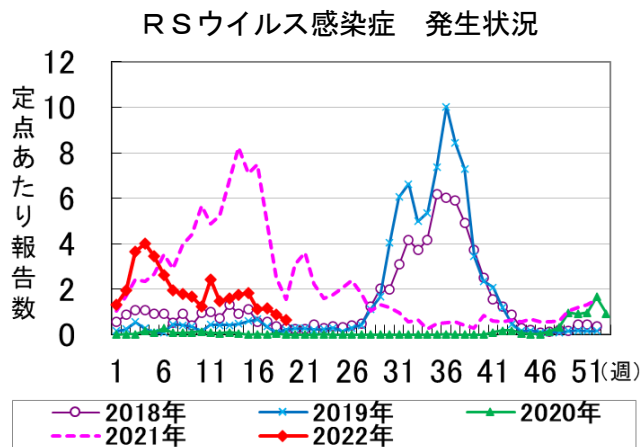
【RSウイルス感染症】

報告数は23人(0.64)で、前週比72%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.59)の約1.1倍であった。日向(2.0)、高鍋(1.5)、延岡(1.3)、宮崎市(0.40)保健所からの報告で、年齢群別は2歳以下がほとんどを占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は151人(4.2)で、前週比109%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.5)の約0.7倍であった。中央(10.0)、都城(7.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし

✚ 全国 2022 年第 18 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	105 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	9 例		
4類感染症	E型肝炎	3 例	エキノコックス症	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	4 例
	レジオネラ症	21 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	2 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	15 例
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	5 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	16 例	水痘（入院例）	5 例	梅毒	72 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	4 例	風しん	2 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 75%と減少した(祝祭日の休診含む)。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

RSウイルス感染症の報告数は 303 人(0.10)で前週比 71%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.38)の約 0.3 倍であった。宮崎県(0.89)、島根県(0.61)、岐阜県(0.58)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳以下が全体のほとんどを占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 8,297 人(2.7)で前週比 71%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.3)の約 0.6 倍であった。大分県(5.4)、富山県(4.3)、長野県(4.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2022年4月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は29人(2.2)で、前月比69%と減少した。また、昨年4月(1.7)の約1.3倍であった。

《疾患別》

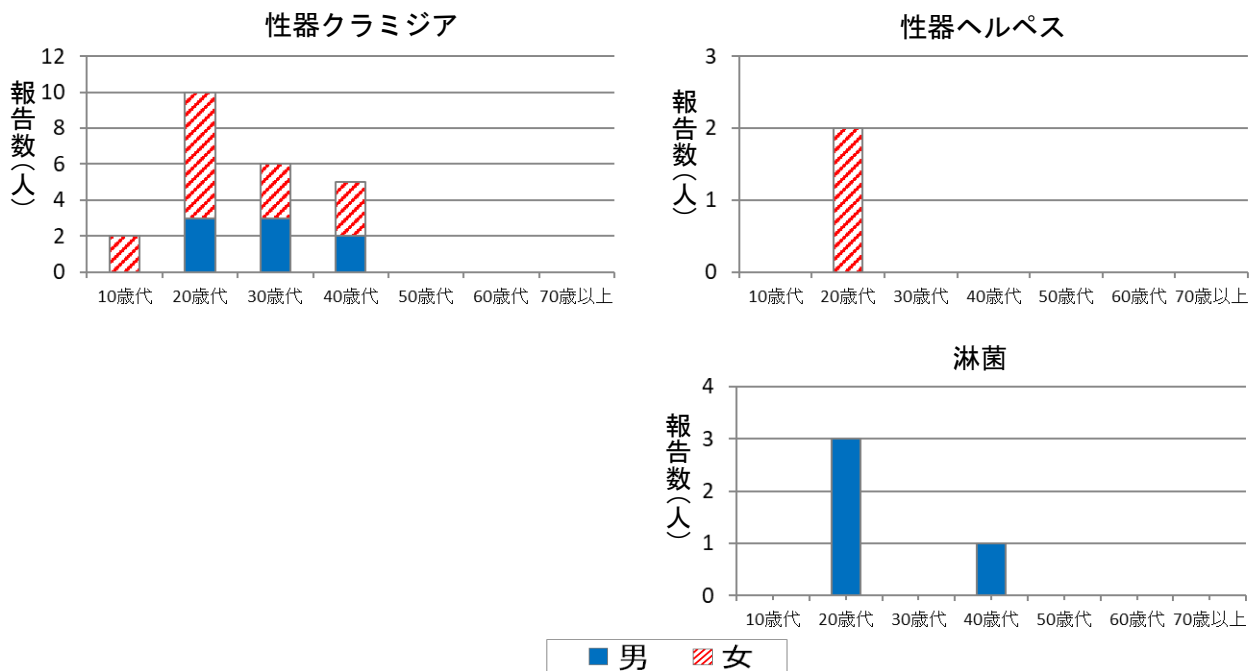
○性器クラミジア感染症：報告数23人(1.8)で、前月の約0.7倍、昨年4月の約1.8倍であった。

20歳代が全体の約4割を占めた。(男性8人・女性15人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2人(0.15)で、前月の0.5倍、昨年4月の0.4倍であった。
(女性2人)

○尖圭コンジローマ：報告なし。

○淋菌感染症：報告数4人(0.31)で前月の約0.7倍、昨年4月の4.0倍であった。(男性4人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,335人(4.4)で、前月比98%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,342人(2.4)で前月比96%、性器ヘルペスウイルス感染症746人(0.76)で前月比106%、尖圭コンジローマ456人(0.46)で前月比100%、淋菌感染症791人(0.81)で前月比100%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は22人(3.1)で、前月比116%と増加した。また、昨年4月(2.4)の約1.3倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数22人(3.1)で、前月の約1.2倍、昨年4月の約1.3倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,169人(2.5)で、前月比91%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,118人(2.3)で前月比91%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症36人(0.08)で前月比100%、薬剤耐性緑膿菌感染症15人(0.03)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第19週(05月09日～05月15日)

疾病名		第18週	第19週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	32	23	4		5			6		8	
	定点当り	0.89	0.64	0.40	0.00	1.25	0.00	0.00	1.50	0.00	2.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	3	6	4	1	1						
	定点当り	0.08	0.17	0.40	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	5	4		1		2		1			
	定点当り	0.14	0.11	0.00	0.17	0.00	0.67	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	138	151	21	46	4	12	23	12	1	22	10
	定点当り	3.83	4.19	2.10	7.67	1.00	4.00	7.67	3.00	1.00	5.50	10.00
水痘	報告数	3	2						1		1	
	定点当り	0.08	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	2	2	2								
	定点当り	0.06	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数		1		1							
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	15	29	11	5	6	2	2	1	1		1
	定点当り	0.42	0.81	1.10	0.83	1.50	0.67	0.67	0.25	1.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	1									1
	定点当り	0.08	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	1		1							
	定点当り	0.67	0.17	0.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～19週)

2類感染症	結核	39例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例(1)
	レジオネラ症	1例		つつが虫病
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	1例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	24例(1)
	破傷風	1例	百日咳	8例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	40701例(3547)		

()内は今週届出分、再掲